



**恒志堂
佐藤元春社長の講演会
アパート経営者よ大志を抱け**

恒志堂社長の佐藤元春氏は九月十五日、自センター（札幌市中央身の講演会「アパート」区）で開催した。経営者よ大志を抱け

佐藤氏は、昭和五十年生まれの三十七歳。大学卒業後、札幌市内の学習塾で英語講師を務め、公立高校の入学試験日にはテレビの解答速報を担当していた。平成十三年から二十六歳の若さで不

動産賃貸業を始めた。現在は建築中の新築を含めると五百十三戸を所有し、年間家賃収入は四億円に達するという。

講演は三部制で行われ、一部のテーマは「情熱」、一部が「誠実」、三部が「飛躍」と名付け、自らの経歴や経営理念などを説明した。

一部では、不動産賃貸業を始めたばかりの頃、ブログを通じて出会ったライバルが成長の原動力となったこと。謙虚さや感謝の気持ちを持つことの大切さや反対意見をほっきり言う人の意見に耳を傾ける重要性を説いた。二部では、父親との死別により幸せになることの重要性和向き合ったこととして「自分が幸せになるためには、まず相手に喜んでもらうことが重要」と訴えた。

また、不動産の購入方法に関しても「買えるのか、銀行から融資をもらえるかも分からない人が、指値を入れるのは謙虚さに欠けると、苦言を呈した。

三部では、法人を設立するときは、「節税目的ではなく、納税目的で設立してください」と話し始めた。その上で「法人設立のタイミングはいつかという質問をよく受けます。その答えは『あなたが本気で経営に取り組むとき』です」と訴えた。

そして、貸借対照表や損益計算書を見るときに注意すべき点や銀行が重要視する項目などを説明した。